

(地形・地質)

西城川流域の地形は、北部は烏帽子山、三国山など 1,000m級の山々を脊梁とした道後山山地で占められ、南部に庄原盆地が広がる。流域の大部分は中起伏山地と小起伏山地で占められる。

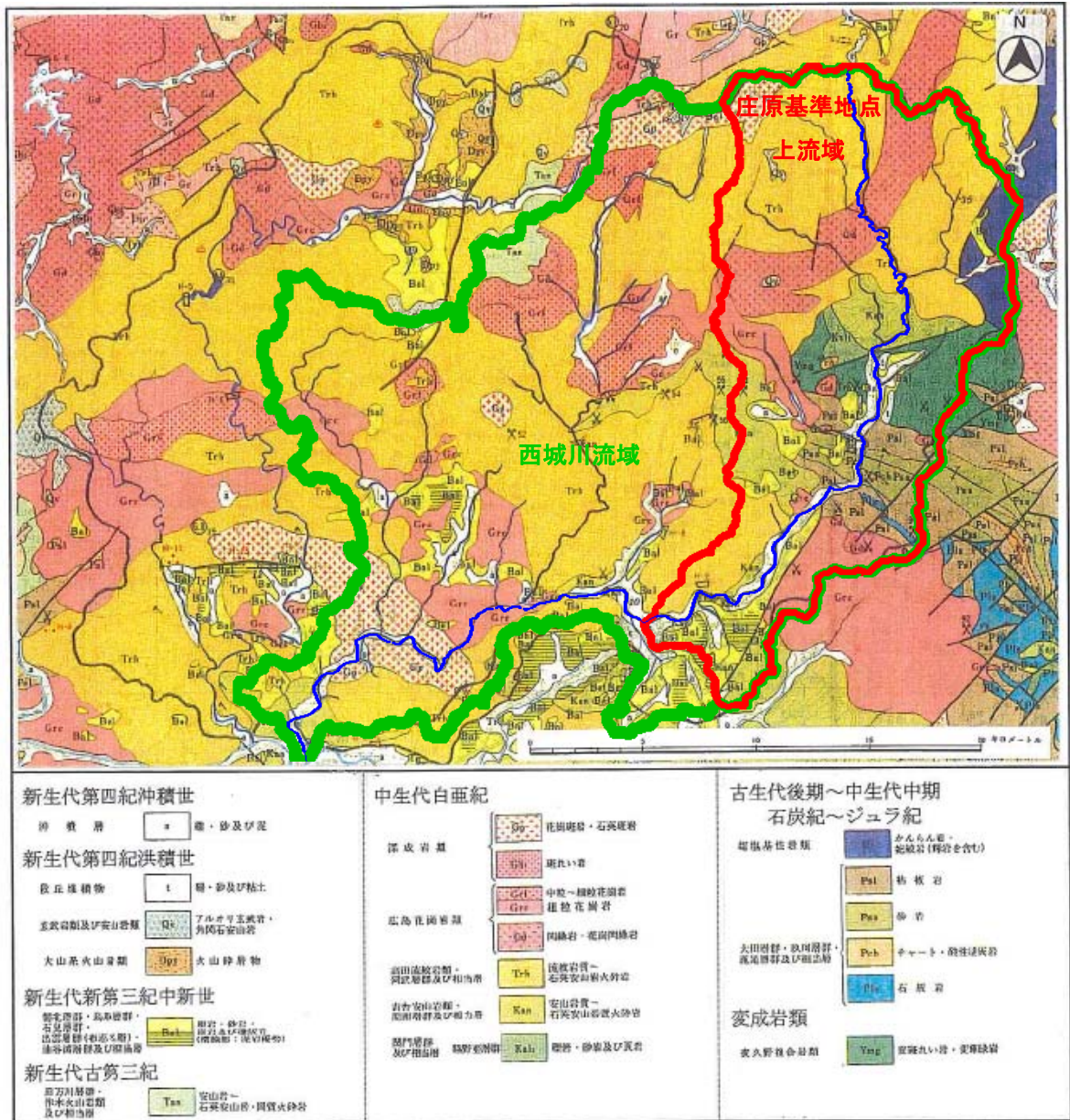


出典：「土地分類図（地形分類図）経済企画庁総合開発局（1972）」

図 2.1.4 西城川流域の地勢図

2. 流域及び河川の概要について  
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況

西城川流域の地質は、流紋岩・安山岩・花崗岩を主体とした中生代白亜紀の地質が全域に分布する。他に、庄原市西城町域に古生代石炭紀～ジュラ紀の堆積岩を主体とした地質が、流域南部等に新生代新第三紀中新世の堆積岩を主体とした地質が分布している。西城川流域東部には、夜久野複合岩類が分布している。また、河川沿いに礫・砂・泥の堆積物からなる新生代第四紀の沖積層が分布する。



出典：「中国地方土木地質図(1984) 建設省中国地方整備局」

図 2.1.5 西城川流域の地質図

(気 象)

西城川流域内の降水量観測所の最近5か年(平成17年～平成21年)についての年間降水量をみると、庄原観測所で平均1,400mm程度である。月別降水量は、冬・春季(12月～4月)に少なく、梅雨期の5～7月及び台風期の9月に多い傾向を示している。

庄原観測所の最近5か年の降水量を次に示す。

表 2.1.1 庄原観測所月別降水量 (mm)

年月	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平均値
1月	40	41	37	50	66	46
2月	105	67	78	50	76	75
3月	96	106	62	96	60	84
4月	86	137	57	115	85	96
5月	174	223	128	151	27	140
6月	144	256	174	100	206	176
7月	220	460	208	28	393	261
8月	148	145	137	155	80	133
9月	164	236	106	157	53	143
10月	108	33	67	62	47	63
11月	64	57	28	69	120	67
12月	109	40	84	58	59	70
年雨量合計	1458	1801	1166	1091	1272	1357

(流況)

西城川の石丸取水地点および大戸川の庄原ダム地点における、昭和32年から平成21年(53年間)の流況を以下に示す。

石丸取水地点の平均低水流量は、 $4.215\text{m}^3/\text{s}$ 、平均渇水流量は $2.430\text{m}^3/\text{s}$ であり、これを大きく下回る年として、平成6年がある。平成6年の渇水は、生活用水や工業・農業用水に深刻な影響を与えた。

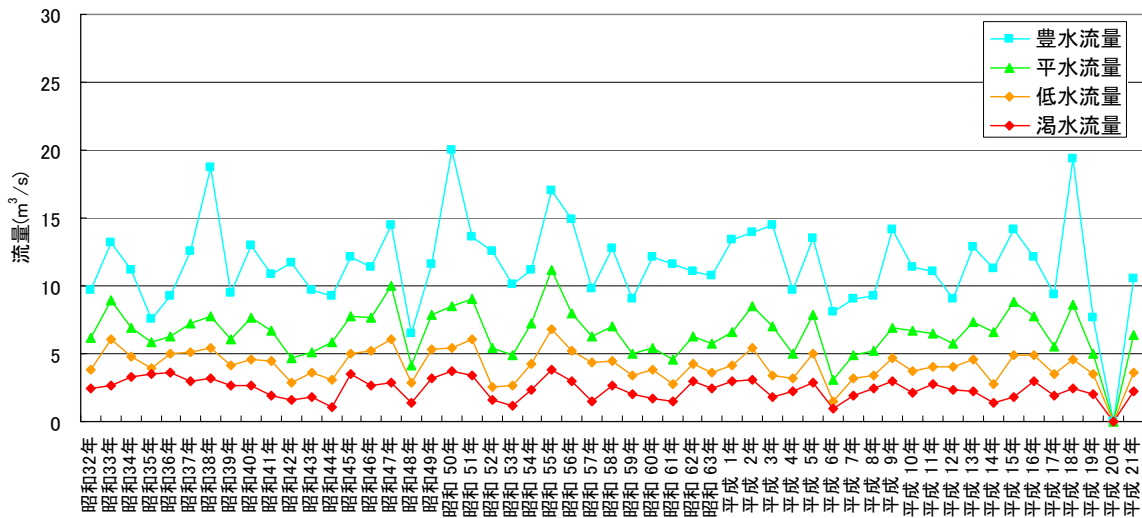


図 2.1.6 石丸取水地点の流況

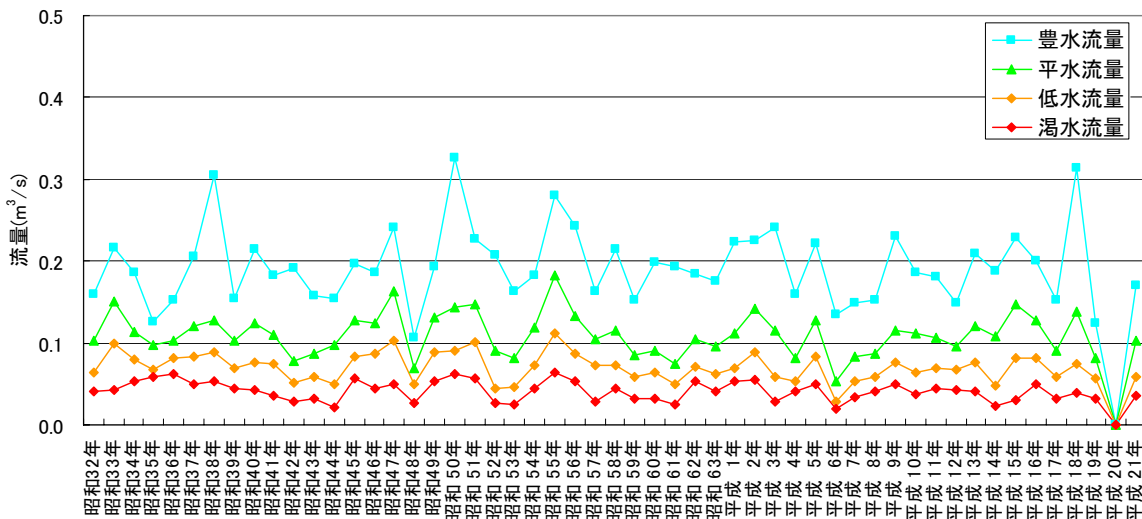


図 2.1.7 庄原ダム地点の流況

2. 流域及び河川の概要について  
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況

表 2.1.2 石丸基準地点の流況

石丸取水堰地点流況表(実測ベース) CA=259.2km<sup>2</sup>

年	最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	豊水流量 (m <sup>3</sup> /s)	平水流量 (m <sup>3</sup> /s)	低水流量 (m <sup>3</sup> /s)	濁水流量 (m <sup>3</sup> /s)	最小流量 (m <sup>3</sup> /s)	平均流量 (m <sup>3</sup> /s)
昭和32年	234.703	9.696	6.210	3.860	2.431	2.177	10.372
昭和33年	170.481	13.187	8.989	6.091	2.624	2.176	13.000
昭和34年	456.118	11.136	6.962	4.781	3.257	2.470	11.813
昭和35年	605.273	7.525	5.890	3.959	3.491	3.332	11.084
昭和36年	186.900	9.273	6.295	4.970	3.626	3.093	11.516
昭和37年	183.145	12.515	7.211	5.120	2.983	2.684	12.318
昭和38年	450.790	18.690	7.759	5.403	3.212	2.480	17.862
昭和39年	207.367	9.462	6.016	4.179	2.670	1.609	10.865
昭和40年	533.632	12.938	7.689	4.577	2.669	2.226	15.391
昭和41年	166.706	10.812	6.716	4.457	1.888	1.260	12.377
昭和42年	262.369	11.691	4.686	2.914	1.584	1.305	11.484
昭和43年	154.664	9.652	5.055	3.566	1.821	0.673	9.104
昭和44年	196.038	9.263	5.827	3.038	1.071	0.872	9.522
昭和45年	250.659	12.107	7.739	5.015	3.471	1.718	14.607
昭和46年	316.494	11.418	7.610	5.214	2.619	2.321	13.764
昭和47年	1499.304	14.427	9.960	6.036	2.854	2.147	27.483
昭和48年	40.761	6.454	4.144	2.883	1.385	0.055	5.533
昭和49年	119.271	11.644	7.874	5.284	3.217	2.605	11.380
昭和50年	160.187	19.960	8.526	5.418	3.760	3.222	22.938
昭和51年	112.503	13.626	9.029	6.114	3.357	2.914	13.061
昭和52年	68.560	12.579	5.418	2.570	1.574	1.305	9.610
昭和53年	44.487	10.089	4.915	2.629	1.220	0.877	7.378
昭和54年	159.604	11.135	7.199	4.248	2.386	1.763	11.256
昭和55年	357.719	17.017	11.200	6.823	3.815	3.262	16.608
昭和56年	510.301	14.890	7.978	5.204	3.003	2.475	15.235
昭和57年	55.966	9.736	6.300	4.412	1.479	0.767	7.686
昭和58年	480.301	12.759	7.002	4.432	2.625	2.271	14.618
昭和59年	109.615	9.029	4.955	3.386	1.972	1.569	8.286
昭和60年	213.339	12.147	5.443	3.831	1.680	1.156	13.522
昭和61年	179.273	11.603	4.542	2.742	1.501	1.338	10.903
昭和62年	97.485	11.099	6.260	4.307	3.005	2.693	11.133
昭和63年	91.875	10.747	5.727	3.667	2.465	1.840	9.761
平成1年	259.116	13.424	6.607	4.158	3.023	1.977	13.169
平成2年	100.737	13.915	8.512	5.385	3.090	2.524	12.506
平成3年	99.107	14.516	7.022	3.376	1.800	0.000	12.125
平成4年	45.388	9.692	4.962	3.155	2.258	1.869	7.622
平成5年	133.417	13.521	7.839	5.047	2.920	2.213	14.142
平成6年	80.031	8.035	3.081	1.539	0.917	0.674	5.810
平成7年	459.291	9.054	4.921	3.187	1.942	1.669	9.960
平成8年	124.625	9.243	5.219	3.380	2.435	2.141	9.109
平成9年	316.161	14.193	6.957	4.651	3.003	1.400	18.202
平成10年	254.817	11.384	6.708	3.765	2.126	1.504	10.753
平成11年	207.260	11.099	6.478	4.045	2.806	2.169	10.960
平成12年	138.202	9.065	5.756	4.013	2.363	0.960	8.864
平成13年	193.694	12.880	7.363	4.617	2.234	1.652	11.612
平成14年	62.069	11.323	6.602	2.736	1.353	1.129	9.003
平成15年	143.724	14.159	8.811	4.876	1.831	1.647	13.052
平成16年	97.285	12.174	7.796	4.890	2.939	2.483	11.838
平成17年	240.608	9.363	5.552	3.557	1.940	1.522	10.055
平成18年	欠測	19.398	8.567	4.612	2.448	欠測	欠測
平成19年	80.178	7.637	5.050	3.468	1.990	1.408	7.542
平成20年	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
平成21年	284.090	10.502	6.343	3.612	2.234	1.562	11.254
平均	235.210	11.786	6.678	4.215	2.430	1.827	11.942
100km <sup>2</sup> 当り	90.744	4.547	2.577	1.626	0.938	0.705	4.607

2. 流域及び河川の概要について  
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況

表 2.1.3 庄原ダム地点の流況

庄原ダム地点流況表(自然ベース) CA=4.2km<sup>2</sup>

年	最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	豊水流量 (m <sup>3</sup> /s)	平水流量 (m <sup>3</sup> /s)	低水流量 (m <sup>3</sup> /s)	渇水流量 (m <sup>3</sup> /s)	最小流量 (m <sup>3</sup> /s)	平均流量 (m <sup>3</sup> /s)
昭和32年	3.822	0.159	0.102	0.063	0.041	0.037	0.171
昭和33年	2.778	0.216	0.150	0.100	0.043	0.035	0.214
昭和34年	7.424	0.186	0.114	0.079	0.054	0.040	0.194
昭和35年	9.853	0.126	0.098	0.067	0.059	0.057	0.183
昭和36年	3.045	0.152	0.102	0.082	0.062	0.055	0.190
昭和37年	2.984	0.205	0.121	0.084	0.050	0.045	0.203
昭和38年	7.337	0.305	0.127	0.088	0.053	0.045	0.293
昭和39年	3.378	0.155	0.102	0.069	0.045	0.031	0.179
昭和40年	8.684	0.215	0.125	0.076	0.043	0.040	0.253
昭和41年	2.716	0.182	0.110	0.074	0.035	0.025	0.204
昭和42年	4.273	0.192	0.078	0.051	0.029	0.026	0.189
昭和43年	2.521	0.158	0.086	0.059	0.032	0.016	0.150
昭和44年	3.193	0.154	0.097	0.050	0.022	0.019	0.157
昭和45年	4.082	0.197	0.128	0.084	0.056	0.033	0.240
昭和46年	5.153	0.187	0.125	0.087	0.044	0.038	0.226
昭和47年	24.391	0.241	0.163	0.102	0.050	0.040	0.449
昭和48年	0.663	0.106	0.070	0.049	0.027	0.006	0.092
昭和49年	1.945	0.193	0.131	0.089	0.054	0.047	0.187
昭和50年	2.610	0.326	0.144	0.090	0.062	0.054	0.375
昭和51年	1.835	0.227	0.148	0.101	0.057	0.052	0.215
昭和52年	1.120	0.207	0.091	0.045	0.026	0.021	0.159
昭和53年	0.728	0.164	0.082	0.046	0.025	0.019	0.122
昭和54年	2.601	0.183	0.119	0.072	0.044	0.034	0.185
昭和55年	5.823	0.280	0.183	0.112	0.063	0.053	0.272
昭和56年	8.305	0.243	0.133	0.087	0.054	0.045	0.250
昭和57年	0.915	0.163	0.105	0.072	0.029	0.017	0.127
昭和58年	7.817	0.214	0.116	0.073	0.045	0.037	0.240
昭和59年	1.788	0.152	0.085	0.058	0.032	0.026	0.137
昭和60年	3.475	0.199	0.091	0.064	0.032	0.024	0.222
昭和61年	2.921	0.194	0.074	0.049	0.024	0.022	0.180
昭和62年	1.590	0.185	0.105	0.071	0.053	0.044	0.183
昭和63年	1.499	0.176	0.096	0.062	0.040	0.030	0.161
平成1年	4.219	0.223	0.111	0.070	0.053	0.037	0.217
平成2年	1.638	0.226	0.141	0.089	0.055	0.046	0.206
平成3年	1.617	0.241	0.116	0.058	0.029	0.004	0.200
平成4年	0.738	0.160	0.081	0.053	0.040	0.035	0.126
平成5年	2.175	0.222	0.128	0.083	0.050	0.041	0.232
平成6年	1.302	0.134	0.053	0.028	0.019	0.016	0.097
平成7年	7.475	0.149	0.084	0.053	0.034	0.031	0.164
平成8年	2.032	0.152	0.086	0.059	0.040	0.035	0.151
平成9年	5.147	0.231	0.116	0.077	0.049	0.028	0.298
平成10年	4.145	0.186	0.111	0.064	0.037	0.029	0.177
平成11年	3.363	0.180	0.107	0.069	0.045	0.035	0.180
平成12年	2.244	0.149	0.096	0.068	0.043	0.020	0.146
平成13年	3.143	0.209	0.120	0.077	0.041	0.032	0.191
平成14年	1.006	0.188	0.108	0.047	0.023	0.019	0.148
平成15年	2.334	0.229	0.147	0.082	0.030	0.027	0.214
平成16年	1.585	0.200	0.127	0.081	0.050	0.040	0.194
平成17年	3.899	0.152	0.090	0.058	0.031	0.025	0.163
平成18年	欠測	0.314	0.139	0.075	0.040	欠測	欠測
平成19年	1.299	0.124	0.082	0.056	0.032	0.023	0.122
平成20年	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
平成21年	4.603	0.170	0.103	0.059	0.036	0.025	0.182
平均	3.828	0.194	0.111	0.070	0.042	0.033	0.196
100km <sup>2</sup> 当り	91.145	4.616	2.631	1.676	0.990	0.775	4.673

(土地利用)

庄原市の土地利用状況を表 2.1.4 に示す。  
庄原市の面積は 1,246.60km<sup>2</sup>で、このうち山林が 381.27km<sup>2</sup>と全体の 30.6%を占めており、次いで田が 68.25km<sup>2</sup>（面積比 5.5%）を占めている。

表 2.1.4 庄原市の土地利用状況 (H17.6)

	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他	合計
庄原市	68.25	12.76	11.69	148.00	381.27	12.13	4.59	754.43	1,246.60
構成比	5.5	1.0	0.9	0.1	30.6	1.0	0.4	60.5	100.0

出展：庄原市の基礎資料 平成 18 年 庄原市地域振興部企画課

(人口と産業)

①人口

表 2.1.5 及びに図 2.1.8 庄原市の人口の推移を、図 2.1.9 に平成 17 年の年齢階層別の人口を示す。

これによると、庄原市の人口は昭和 50 年以降、年々減少している。また、平成 17 年の年齢階層別人口は、年少人口の割合が低く、老年人口の割合が高い。

表 2.1.5 人口の推移

町名 年	庄原市			
	人口(人)			世帯数(戸)
	合計	男	女	
昭和50年	56,336	27,007	29,329	15,955
昭和55年	53,506	25,452	28,054	15,694
昭和60年	52,157	24,820	27,337	15,440
平成2年	50,624	24,154	26,470	15,515
平成7年	48,539	23,168	25,371	15,965
平成12年	45,678	21,734	23,944	15,931
平成17年	43,149	20,416	22,733	15,791

出典：広島県統計協会ホームページ

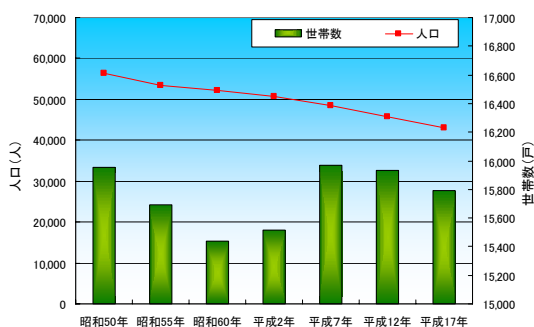


図 2.1.8 人口及び世帯数の推移

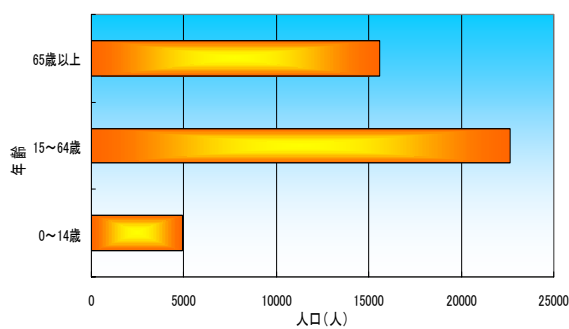


図 2.1.9 年齢階層別人口(H17年)



②産業

産業別就業者数の構成を表 2.1.6 に示す。

庄原市では第 3 次産業の割合が 67.6%で最も高い。産業の大分類別にみると、卸売・小売業が 20.1%で最も高く、次いで医療・福祉関係 19.1%、サービス業 17.9%の順となっている。

表 2.1.6 産業別人口の構成 (H18 年)

産業 (大分類)		就業者数 (%)
市 名		庄原市
総 数		18,475(100.0)
第 1 次産業	農林漁業	641(3.4)
第 2 次産業	鉱業	110(0.5)
	建設業	1,942(10.5)
	製造業	2,631(14.2)
	小計	5,342(28.8)
第 3 次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	40(0.2)
	情報通信業	20(0.1)
	運輸業	656(3.6)
	卸売・小売業	3,715(20.1)
	金融・保険業	271(1.5)
	不動産業	109(0.6)
	飲食店・宿泊業	1,103(6.0)
	医療・福祉	3,534(19.1)
	教育・学習支援業	1,227(6.6)
	複合サービス業	782(4.2)
	サービス業(他に分類されないもの)	3,312(17.9)
	公務 (他に分類されないもの)	954(5.2)
	小計	12,492(67.6)

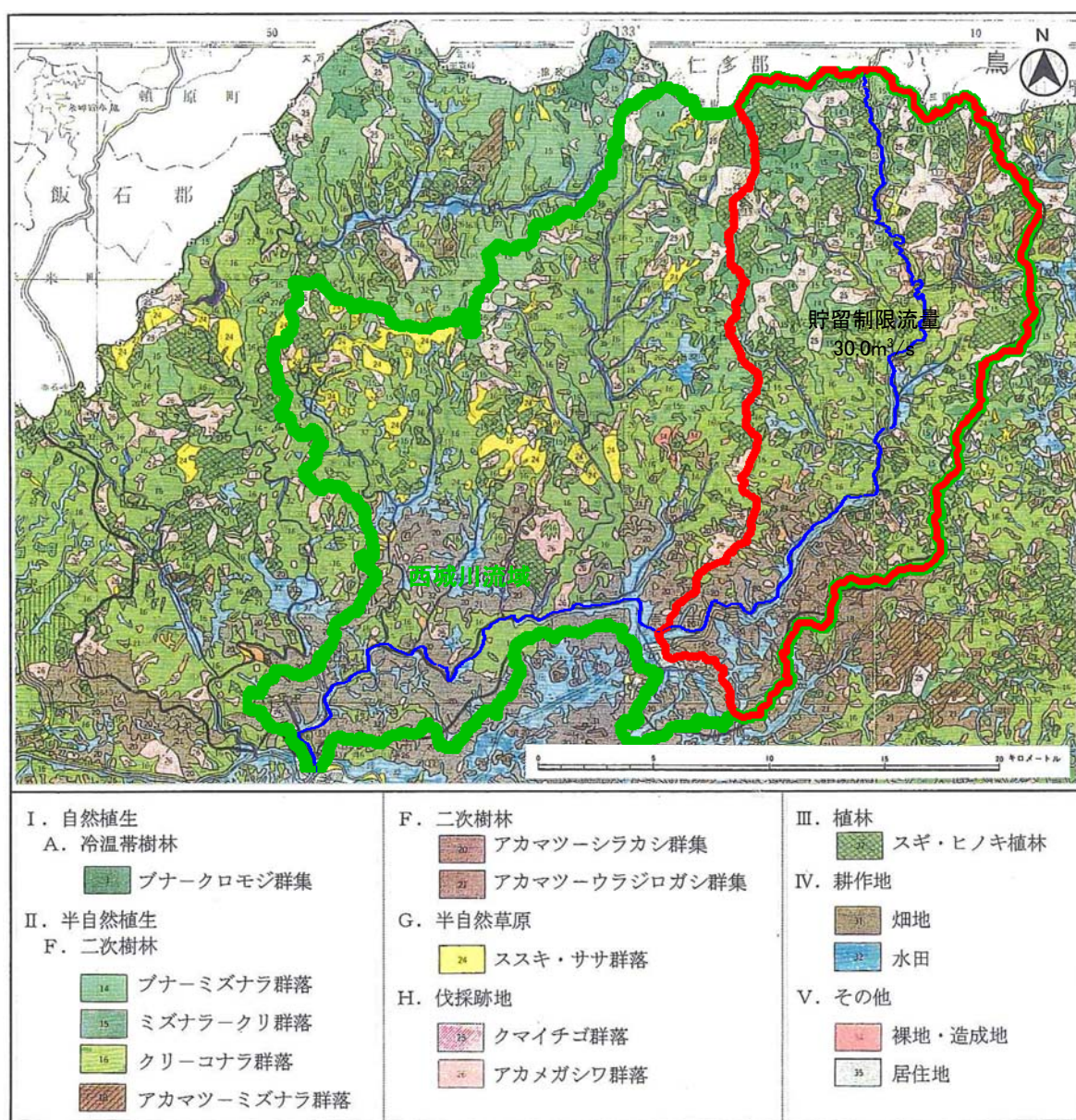
出典：広島県統計協会ホームページ

(自然環境)

①植生

西城川流域の植生は、二次樹林を主体としており、落葉ナラ類二次林が広く分布している。流域北部はスギ・ヒノキ植林やミズナラークリ群落、中部にクリーコナラ群落分布している。また、河川周辺には耕作地が見られる。

西城川流域の植生を図 2.1.10 に示す。



出典:「広島県の植生図(1979) 広島県」

図 2.1.10 西城川流域の植生

2. 流域及び河川の概要について  
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況

②動植物

1) 指定天然記念物等

西城川流域内で国・県・市町村より指定を受けている動植物関連の天然記念物を次に示す。

表 2.1.7 西城川流域内の天然記念物（動植物関連）

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地
国指定特別天然記念物	オオサンショウウオ	昭和27. 3. 29	地域を定めず
国指定天然記念物	熊野の大トチ	昭和33. 2. 6	庄原市西城町熊野
	比婆山のブナ純林	昭和35. 7. 15	庄原市西城町油木 庄原市比和町三河内
広島県指定天然記念物	上高野山の乳下がりイチヨウ	昭和12. 5. 28	庄原市高野町新市
	ゴギ（熊野川上流，大羽川）	昭和26. 11. 6	庄原市西城町熊野
	熊野神社の老杉	昭和27. 2. 22	庄原市西城町熊野
	上湯川の八幡神社社叢	昭和34. 10. 30	庄原市高野町上湯川
	南の八幡神社社叢	昭和34. 10. 30	庄原市高野町南
	円正寺のシダレザクラ	昭和34. 10. 30	庄原市高野町新市
	金屋子神社のシナノキ	昭和34. 10. 30	庄原市高野町新市
	山家のヒイラギ	昭和35. 8. 25	三次市山家町
	西城浄久寺のカヤ	昭和44. 4. 28	庄原市西城町栗
	横目堂のイチイ	昭和48. 3. 28	庄原市川西町
	諏訪神社のシラカシ林・コケ群落	昭和48. 3. 28	庄原市高門町
	湯木のモミ	昭和53. 1. 31	庄原市口和町湯木
	大屋のサイジョウガキ	昭和53. 1. 31	庄原市西城町大屋
	平子のタンバグリ	昭和53. 10. 4	庄原市西城町平子
	川北のアベマキ	昭和53. 4. 26	庄原市川北町
庄原市指定天然記念物 （旧庄原市）	天満が丸神社社叢	昭和50. 7. 7	庄原市川北町
	藤木のサクラ	昭和52. 3. 26	庄原市西本町
	津田のスモモ	昭和52. 3. 26	庄原市濁川町
庄原市指定天然記念物 （旧西城町）	比婆山のイチイ群	昭和43. 6. 10	庄原市西城町熊野
	浄久寺のヤマフジ	昭和51. 3. 25	庄原市西城町栗
	天戸神社の大スギ	昭和55. 9. 19	庄原市西城町大佐
	八鳥のウラジロガシ	昭和55. 9. 19	庄原市西城町八鳥
庄原市指定天然記念物 （旧口和町）	向住のサクラ	昭和60. 5. 27	庄原市口和町向泉
	多加意加美神社社叢	昭和60. 5. 27	庄原市口和町向泉
	湯木八幡神社社叢	平成 3. 7. 9	庄原市口和町湯木
庄原市指定天然記念物 （旧高野町）	王居峠神社社叢	昭和55. 8. 23	庄原市高野町上湯川
	山根荒神社のシナノキ	昭和55. 8. 23	庄原市高野町新市
	多賀山神社のヒノキ	昭和55. 8. 23	庄原市高野町下門田
	田部家のイチイ	昭和55. 8. 23	庄原市高野町上里原
	上市大山神社のモミ	昭和60. 1. 28	庄原市高野町新市
	長妻家のリンゴ	平成 9. 1. 9	庄原市高野町下門田
庄原市指定天然記念物 （旧比和町）	慶雲寺シラカシ林	平成 2. 10. 16	庄原市比和町三河内

2. 流域及び河川の概要について  
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況

2) 貴重な動植物

環境省公表の「レッドリスト」記載種及び平成16年3月に広島県が公表した「改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物」に記載されている西城川流域に生息・生育するとされる動植物の一覧を次に示す。

表 2.1.8 西城川流域に生息・生育する貴重な動植物 (1/2)

分類	科名	種名	環境省	広島県	科名	種名	環境省	広島県	
哺乳類	トカリスミ科	カリネズミ		絶滅危惧Ⅱ類	ヒコウモリ科	テンクコウモリ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
	モグラ科	ミスラモグラ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類		コテンクコウモリ	絶滅危惧Ⅱ類		
		アズマモグラ		準絶滅危惧		クマ科	ツキノクグマ	地域個体群	絶滅危惧Ⅰ類
	ヒコウモリ科	モモンコウモリ		準絶滅危惧	イタチ科	ニホンイタチ		準絶滅危惧	
鳥類	カイツブリ科	カムリカイツブリ			クイ科	クイ		準絶滅危惧	
	サギ科	オオヨコイ	絶滅危惧ⅠB類		ヒクイ	ヒクイ		準絶滅危惧	
		ミゾゴイ	準絶滅危惧	情報不足	シギ科	オオジシギ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類	
		チュウサギ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	カモ科	コアジサシ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
	カモ科	オンドリ		準絶滅危惧	フクロウ科	コノハズク		絶滅危惧Ⅰ類	
		トモエガモ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		オオコノハズク		情報不足	
	効科	ヨカ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	ヨカ科	ヨカ		準絶滅危惧	
		ハチクマ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	フッポウ科	フッポウソウ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
		オウシ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	キツツキ科	オオアカゲラ		準絶滅危惧	
		オオカ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		アカゲラ		準絶滅危惧	
		ハタカ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類	
		クマカ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類	サンショウクイ科	サンショウクイ	絶滅危惧Ⅱ類	情報不足	
		イヌワシ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類	モズ科	チコモズ	絶滅危惧Ⅱ類		
		ウズラ	情報不足		ヒタキ科	コマドリ		情報不足	
	キン科	ヤマトリ		準絶滅危惧		サンコウチョウ		準絶滅危惧	
					ヒビ科	タチホビ		準絶滅危惧	
	爬虫類	スッポン科	スッポン	情報不足	情報不足				
	両生類	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ		準絶滅危惧
		サンショウウオ科	カスミサンショウウオ		絶滅危惧Ⅱ類		ハコネサンショウウオ		絶滅危惧Ⅰ類
			アハサンショウウオ	絶滅危惧ⅠA類		ヒキガエル科	ニホンヒキガエル		絶滅危惧Ⅱ類
魚類	ヤツメナギ科	スナヤツメ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	アカザ科	アカザ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
	サガ科	ゴキ	地域個体群	絶滅危惧Ⅰ類	メダカ科	メダカ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
		サクラマス		絶滅危惧Ⅰ類	カシカ科	カシカ		絶滅危惧Ⅰ類	
	トシヨウ科	スシマトシヨウ		絶滅危惧Ⅱ類	スズキ科	オヤニラミ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	
		イトシヨウ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類					
昆虫類	アオイトトンボ科	コハネアオイトトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	シロチョウ科	ツマクロキチョウ	絶滅危惧Ⅱ類		
	ヨコバネ科	カリムヨコバネ	準絶滅危惧	準絶滅危惧		ヒメシロチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
	コオイムシ科	コオイムシ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	シジミチョウ科	ゴマシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
		タガメ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類		クロシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類	
	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	準絶滅危惧	準絶滅危惧		ヒメシジミ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	
	コカネムシ科	ダクイコカネ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	タテハチョウ科	オウラケンヒョウモン	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅種	
	カミキリムシ科	クワカマルヒカミキリ	準絶滅危惧			オオムラサキ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
		ヒメヒロウトカミキリ	情報不足	絶滅危惧Ⅰ類		ウスイロヒョウモンモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類	
	セリチョウ科	ホンチャハネセリ	絶滅危惧Ⅱ類		シヤノメチョウ科	ヒメヒカゲ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類	
		スシグロチャハネセリ	準絶滅危惧	準絶滅危惧		ウラナミシヤノメ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
	アゲハチョウ科	キフチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧					
貝類	カリシジミ科	カタハガイ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	イシガイ科	マツカサガイ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
	イシガイ科	オハエホシガイ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	ムシガイ科	オカムラムシガイ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
		トシカサガイ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	キセルガイ科	ホソヒメキセル	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
		ニセマツカサガイ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類					

2. 流域及び河川の概要について  
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況

表 2.1.9 西城川流域に生息・生育する貴重な動植物 (2/2)

分類	科名	種名	環境省	広島県	科名	種名	環境省	広島県	
コケ植物	カワコケ科	クロカワコケ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類					
シダ植物	イワハコ科	ヒモカズラ		絶滅危惧Ⅰ類	オモダカ科	アギナシ	準絶滅危惧		
	ミスミソ科	ミスミソ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	トカカミ科	スズタ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
単子葉類	ユリ科	イソショウブ		絶滅危惧Ⅱ類	ラン科	サキソウ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
		スズラン		絶滅危惧Ⅱ類		ミストノホ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
	アヤメ科	ヒメヤカ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類		カモメラン	絶滅危惧ⅠB類		
		エヒメヤカ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類		トキノウ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
	サトイモ科	ヒメサセソウ		絶滅危惧Ⅱ類		キンセイトン	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類	
		ヒビネ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		シラン	準絶滅危惧		
	ラン科	ナツエビネ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		ヒナラン	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類	
		キヒビネ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類		ムコウラン		準絶滅危惧	
		キンラン	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		ユウシュンラン	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
						キボウシラン		絶滅危惧Ⅰ類	
離弁花類	ツトリモチ科	ミヤマツトリモチ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	オトギリソウ科	アゼオトギリ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
	ナデシコ科	オウラセンノウ	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅰ類	ゲン科	ナガミノツルギケマン			
	モクレン科	オオヤマレンゲ		絶滅危惧Ⅱ類		ツルギケマン			
	キンポウゲ科	フクジュソウ		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	アブナ科	コノハナシ	絶滅危惧Ⅱ類	
		キクサキイナ			絶滅危惧Ⅱ類	マンサク科	アヅマノサク		
		サンシロカネソウ			絶滅危惧Ⅱ類	ハンカイソウ科	アホヘンケイ		絶滅危惧Ⅱ類
		オキナグサ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	ハナ科	ミツトウ		準絶滅危惧	
		ハナカサ			絶滅危惧Ⅱ類		イロキンバイ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
		カサケルマ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類			シロヤマギ		絶滅危惧Ⅰ類
	キク科	セツソウ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類			ツチグサ	絶滅危惧Ⅱ類	
		サンゴウ		準絶滅危惧	フウソウ科	イヨフウ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
		スズリイカリソウ		準絶滅危惧		ショクフウ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
	スレン科	ヒメコホネ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	モチノキ科	ヒメモチ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	
	ウラボシ科	ヒメカンアオイ		絶滅危惧Ⅱ類	スミレ科	キスミレ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
	ボタン科	ヤマジャコウ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		サクラスミレ		絶滅危惧Ⅰ類	
		ベニバナジャコウ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類		タマシキスミレ	絶滅危惧ⅠB類	準絶滅危惧	
		オトギリソウ科	ダイセンオトギリ	準絶滅危惧	セリ科	シマセリ		絶滅危惧Ⅱ類	
	合弁花類	ツツジ科	シラタマキ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類	ゴマノハグサ科	ヒメトラノオ		絶滅危惧Ⅰ類
			ウツシロハナヒメ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類		イヌフクグリ	絶滅危惧Ⅱ類	
			キツツジ	絶滅危惧ⅠB類	準絶滅危惧	スイカズラ科	ヤマヒヨウタンホク		絶滅危惧Ⅱ類
ゲンカイツツジ			準絶滅危惧	準絶滅危惧		タマシキヒヨウタンホク		絶滅危惧Ⅱ類	
サクラソウ科		クリンソウ	準絶滅危惧		キョウ科	キョウ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	
		サクラソウ		絶滅危惧Ⅰ類	キク科	フジバカマ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	
モクセイ科		ヤマトレンギョウ		絶滅危惧Ⅱ類		ヤマサトタンホ	準絶滅危惧		
ミツガシラ科		ミツガシラ		絶滅危惧Ⅱ類		オオタノイソヒレン		絶滅危惧Ⅰ類	
キョウチクトウ科		チョウジソウ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類		コウリンカ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
カガイモ科		スズサイ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		ヒコタイ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類	
ソコ科		イブキソウ		絶滅危惧Ⅰ類		タカサコソウ	絶滅危惧Ⅱ類	情報不足	
ゴマノハグサ科		マルバノサトウカ		絶滅危惧Ⅱ類		ヒロハヤマモギ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
		ナゴククイ		絶滅危惧Ⅱ類					

環境省：環境省公表のレッドリストにおけるカテゴリー  
広島県：広島県公表のレッドデータブックにおけるカテゴリー

環境省公表のレッドリストのカテゴリー

- 絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧ⅠA類：ごく近い将来における絶滅の可能性が極めて高い種
- 絶滅危惧ⅠB類：近い将来における絶滅の危険性が高い種
- 絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- 情報不足：評価するだけの情報が不足している種
- 地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

広島県公表のレッドデータブックのカテゴリー

- 絶滅：広島県ではすでに絶滅したと考えられる種
- 野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種
- 絶滅危惧
  - 絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種
  - 絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種
- 情報不足：評価するだけの情報が不足している種